



第九章  
矛盾

1都1道2府43県 ○ 一期一景

photo: Masashige Ogata, writing & layout: Misao Ogata



夫は車が好きだ。私にはちょっと理解不能なほどである。車種はともかく、運転自体が好きなので、暇さえあればフラッと出掛けてゆく。

その日、雨にもかかわらず、夫が茨城まで足を伸ばしてみることにしたのは、フツと思いついたある場所に急に行ってみたくなったからだった。新大利根橋有料道路が見える、利根川の堤防。いろいろなタイプの車を乗り継いできた夫が、四駆にハマっていた頃に気に入っていた場所だった。暴れ馬を乗りこなすかのように四駆を操った。楽しくて仕方がない。友だちを連れて来ては、得意気に縦横無尽に走り回っていた。

くすぐったいような気分に誘われて、久しぶりにその場所を訪れた夫は、堤防の変わり果てた様子に唖然としていた。あちこち抉られた地面には容赦なく水が溜まり、古びたタイヤが置き去りにされている。変形した地面が痛々しい。

そう言えば、数年前この堤防への車の乗り入れが禁止されたと噂に聞いたことを思い出す。四駆に飽きた夫は、今日までその理由を知るよしもなかった。

以前、夫はこんな話をしていたことがある。浜辺を走る車のせいで沢山の轍ができて、海亀の子が海に帰れず死んでゆく。「可哀相に、モラルのないヤツラが多いな」と。

自分のことはさて置き、他人のこととなると人は何とでも言えてしまう。「言うは易し…か」。ぼそっと呟き、シャッターを切る。軽いノリで来たはずが、自分の中の矛盾を知った、苦い一日となった。

Profile

尾形正茂 株式会社シェルパの代表であり、カメラマンとして広告や雑誌の他、CDジャケットやグラフィカなどに携わり日々格闘中。

尾形 操 平成17年よりフリーとして独立。現在はMacによる広告などのレイアウト・デザインに携わり日々格闘中。

シェルパホームページ

▶ <http://www.sherpa-jp.com>